

令和7年度 由宇小学校 働き方改革に係る取組

令和7年4月15日現在

【「学校における働き方改革加速プラン(山口県)」4つの柱と12の取組】

業務の見直し・効率化	校務の効率化	勤務体制等の改善	学校・家庭・地域の連携・協働
① 適正な勤務時間管理と継続的な状況把握 ② 事業・校務等の精選 ③ 意識改革や業務の効率化を図る研修の充実	④ 統合型校務支援システムの効率的な運用 ⑤ 校務におけるICT活用促進	⑥ メリハリのある働き方のルール化 ⑦ 教員業務支援員の配置 ⑧ 部活動指導員の配置と部活動の適正化 ⑨ ICT支援員の配置	⑩ 学校・教員が担う業務の在り方の整理と保護者・地域への理解促進 ⑪ 部活動改革の推進 ⑫ コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かした地域のネットワークの強化

時間外在校等時間の削減状況

令和6年度までの本校における時間外在校等時間の状況

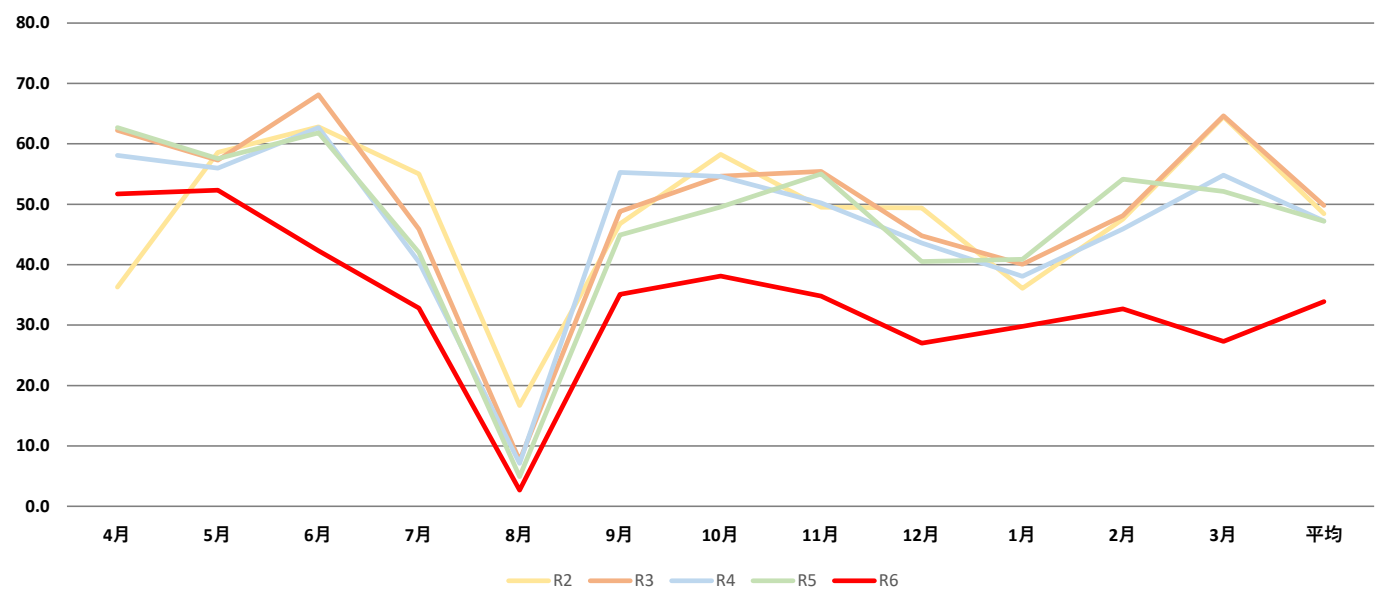
【1か月あたり45時間超、年360時間超の教職員の割合】

年 度	区 分	本 校	県平均
		割 合	割 合
令和2年度	45時間超	56.3%	34.5%
	年360時間超	75.0%	66.6%
令和3年度	45時間超	67.1%	38.0%
	年360時間超	83.3%	65.4%
令和4年度	45時間超	61.9%	36.1%
	年360時間超	81.0%	64.5%
令和5年度	45時間超	57.5%	33.3%
	年360時間超	85.0%	61.0%
令和6年度	45時間超	29.8%	—
	年360時間超	52.4%	—

【教職員一人あたりの1か月の平均】

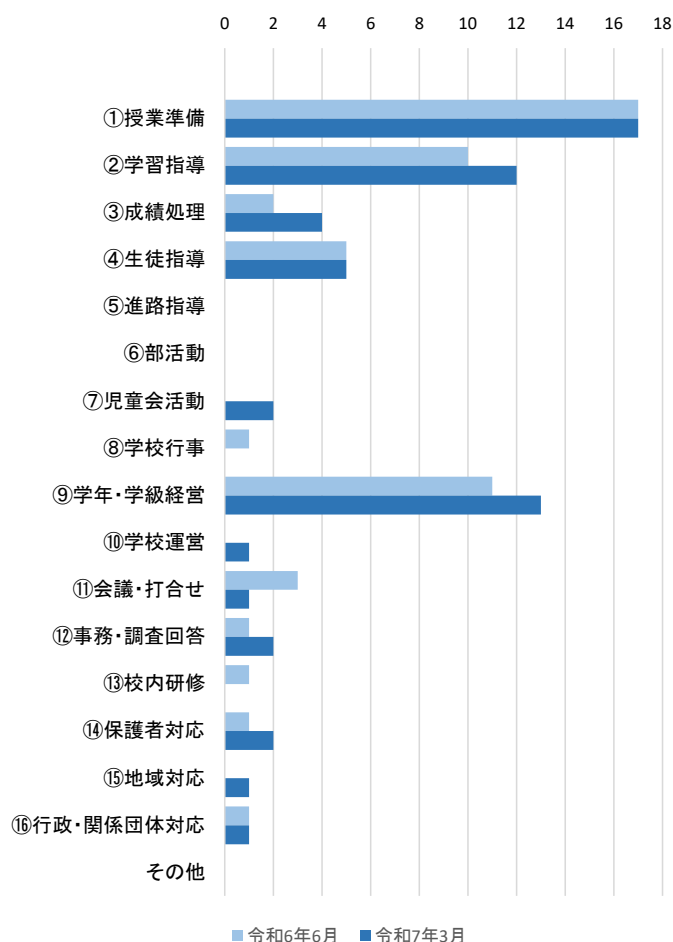
年 度	本 校	県平均
令和2年度	48.4時間	37.6時間
令和3年度	49.8時間	39.1時間
令和4年度	47.2時間	38.4時間
令和5年度	47.2時間	37.0時間
令和6年度	33.9時間	—

年間の時間外在校等時間平均の推移

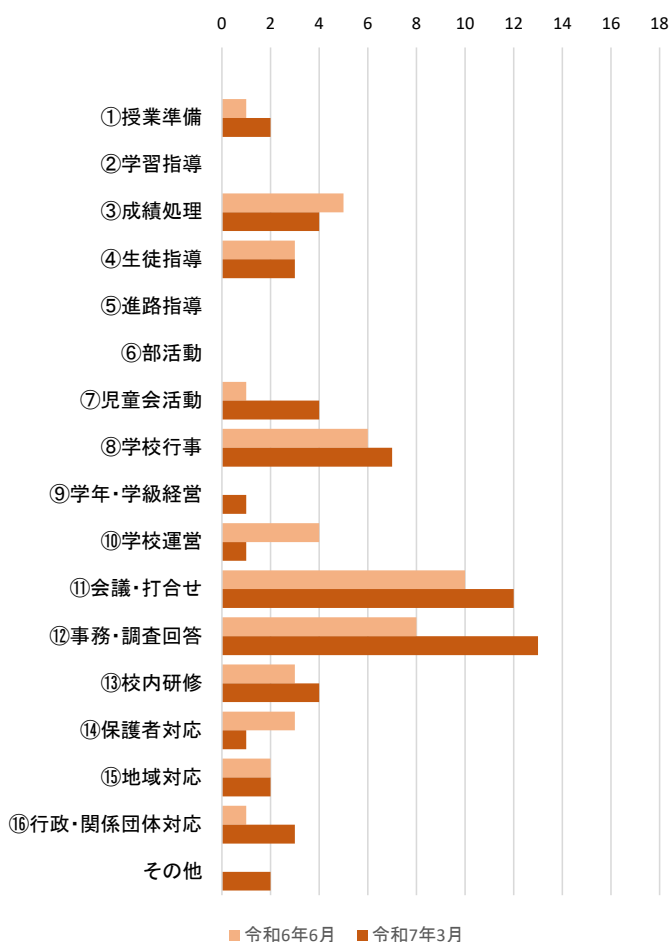


教職員の意識調査

もっと時間をかけたい



改善(精選・効率化・平準化等)が必要



本校の主な取組

業務の見直し・効率化	校務の効率化
・ 出退勤時刻のデジタル管理 ・ 標準授業時数に則った時間割 ・ 業務時間確保のための校時程の弾力化 ・ 学校行事や行事内容の精選 ・ 通知表様式の見直し	・ 欠席連絡のデジタル化 ・ 学校評価アンケートのデジタル化 ・ 配付文書のデジタル化 ・ メール配信による学校情報の提供 ・ 授業や家庭学習での ICT 活用 ・ 夏季休業中の課題提出のICT化による2学期当初の業務の軽減
勤務体制等の改善	学校・家庭・地域の連携・協働
・ 学校閉庁日の設定 ・ 長期休業中の時差出勤制度の設定 ・ 18:00(長期休業中 16:40)以降の電話メッセージ対応 ・ 業務アシスタントの配置 ・ ICT支援員の配置 ・ ノー会議デーの設定(週 1 回) ・ ノー残業デーの設定(月 1 回)	・ 保護者及び地域ボランティアによる学校支援 登下校見守り／入学当初の1年生学校生活支援 校内環境整備／クラブ活動／読み聞かせ 学校図書館貸出返却／水泳学習監視／学力保障 ・ 訪問型家庭教育支援チームによる支援 ・ 食生活改善推進員による調理実習支援 ・ 外部人材(ゲストティーチャー)の活用

保護者・地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。